

学校全体の取り組み

授業規律について	① 指名されてから発言させる。 ② 「はい」は一回または黙って挙手をさせる。 ③ 指名されたら「はい・立つ・です」 ④ みんなに聞こえる声の大きさを発言させる。(声のものさしの活用) ⑤ 発言している人の方を向いて聞かせる。
持ち物について	① 4月に決めた物を持ってきているのかを観察、または点検する。そして、不要な物を持ってこさせない。 ② 机の横に大量に物をかけさせない。 ③ 道具をわすれたときには報告させる。
ノートについて	① 日付を書かせる。 ② 線を引くときは定規を使わせる。 ③ ノートの書き方を指導する。

教科名	児童の実態	指導方法の改善と工夫	評価	
			2学期	3学期
一 コース (ゆ っ く り)	思考力・判断力・表現力 【問題発見】 ・与えられた課題に一生懸命取り組むことはできるが、自ら問題を発見することが難しい児童もいる。 【自力解決】 ・問題で問われていることを理解するのに時間がかかる児童が多い。問題場面をイメージできないので、自力解決が難しくなる。 【発表】 ・分かったときに発表しようとする意欲が高い。筋道を立てて話す力が弱い子や友達の意見を理解できない児童もいる。	【問題発見】 ・デジタル教科書やデジタル教材を効果的に利用したり、体験活動を取り入れたりすることで導入を工夫し、自ら課題を見付けることができるようになる。 【自力解決】 ・基本となるものを中心に、図を使ったり具体物操作活動をしたりしながら解決に当たるようにする。必要に応じて、ヒントカードを用意し、自力解決を促す。 【発表】 ・教師が言葉を補いながら、話型なども掲示して自分の考えを話すように指導する。また、友達の発表のよさに気づき、自分の発表にも取り入れることができるよう、よいところを賞賛する。	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫 【説明する力】 ・説明したいという意欲はあるが、まだ自分の言葉で自分の思いを伝えることができない児童もいる。	【説明する力】 ・隣同士で説明し合ったり、説明に必要な言葉を提示したり、図や表、電子黒板を利用して発表させたりすることで説明の仕方をスモールステップで学んでいくことができるようにする。	B	B
二 コース (標 準)	思考力・判断力・表現力 【問題発見】 ・問題を発見したり、自ら問いをもったりする力に個人差がある。 【自力解決】 ・既習事項を想起して問題を解決する力が十分とは言えない。数直線図や表にする力はずいぶん身に付いてきた児童が多い。 【発表】 ・分かっているにもかかわらず発表しない児童も多く、自信をもって発表することは個人差が大きい。	【問題発見】 ・デジタル教科書やデジタル教材を作成するなど問題提示を工夫することで、児童に興味をもたせ問いを引き出すようにする。 【自力解決】 ・既習事項を意識させるために、使えそうな事項を具体的に考えさせ、それを全体で共有する。また、数直線図や表等を使って考えることを意識させる。必要に応じて、ヒントカードを提示し思考の助けとする。集団検討の終わりまでに解決ができればよいというスタンスで問題解決学習に取り組むようにする。 【発表】 ・発表する機会を増やし、発表の仕方を学び合ったり、お互いの考えを汲み取って発表を手助けしたりすることで、進んで発表できる雰囲気を作り、表現力を高める。	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫 【説明する力】 ・順序立てて説明する力が付いてきているが、自信をもてない児童が多い。	【説明する力】 ・みんなに説明する機会を増やし、まずは隣同士、或いは小グループで説明し合い、さらに全体への説明につなげていき、自信がもてるようにする。	B	B
三 コース (発 展)	思考力・判断力・表現力 【問題発見】 ・自ら問いをもって課題を見付ける児童もいるが、進んで課題を見付け、意欲的に取り組むことに個人差がある。 【自力解決】 ・既習事項を想起して解決に当たることができる児童が多い。しかし、まだ解決のために使うことができる手段が少なく、よりよい方法を見付けていく力は十分とは言えない。 【発表】 ・自分の考えを筋道を立てて友達に伝えることができる児童が多い。	【問題発見】 ・情報不足や情報過多の問題、2つのものを比較する問題等を提示するなどして、検討する過程で自ら問いをもてるようにする。 【自力解決】 ・既習事項を想起させ、数直線や図、表や式等の様々な方法を使うことで、解決の方法の引き出しを増やす。また、よりよい方法、いつでも使える方法をさらに求めていくような態度を育てる。 【発表】 ・自分の考えだけでなく、友達の考えを説明したり、図だけや式だけから考えを理解して説明したりする機会を増やし、意見交流をしながらお互いに高め合えるようにする。	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫 【説明する力】 ・筋道を立てて分かりやすく伝えることができる児童は多いが、友達の考えを汲み取って説明しようとする自信や力は十分とは言えない。	【説明する力】 ・説明の途中であえて説明役を交代したり、友達の考えを代わりに発表する機会を増やす。	B	B